



1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2020年12月	竣工		持ち込み家電等	仮
建設地	横浜市青葉区荏田北一丁目			外構の仕様	仮
用途地域	住居専用地域、22条地域	確定	＜備考＞		
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造(枠組壁工法)	確定	評価の実施日	2020年7月10日	
階数	地上2階建て		作成者	中野 亜紀	
敷地面積	135 m <sup>2</sup>	確定	確認日		
建築面積	57 m <sup>2</sup>	確定	確認者		
延床面積	104 m <sup>2</sup>				
世帯人数	4	仮			

### 2-1 戸建の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 2.9** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

環境負荷 L

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

～0% ☆☆☆☆☆ ～50% ☆☆☆☆☆ ～75% ☆☆☆ ～100% ☆☆ 100%超 ☆

戸建標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub> 排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q1 室内環境を快適・健康・安心にする**  
Q1のスコア= 4.0

暑さ・寒さ 健康と安全・安心 明るさ 静かさ

**Q2 長く使い続ける**  
Q2のスコア= 4.0

長寿命に対する基本性能 維持管理 機能性

**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**  
Q3のスコア= 2.4

まちなみ・景観への配慮 生物環境の保全と創出 地域の安全・安心 地域の資源の活用と住文化の継承

#### LR 環境負荷低減性

**LR1 エネルギーと水を大切に使う**  
LR1のスコア= 4.5

総合的な省エネ 水の節約 維持管理と運用の工夫

**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**  
LR2のスコア= 4.5

省資源・廃棄物抑制に役立つ材料の採用 生産・施工段階における廃棄物削減の促進 リサイクルの促進

**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**  
LR3のスコア= 3.1

地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮

3 設計上の配慮事項		その他
<p><b>総合</b> 次世代省エネを大きく超える断熱性能と通風・日射遮蔽・日射利用などに配慮したパッシブ設計。太陽光発電による自然エネルギーを活用し、LED照明・節水設備によりCO<sub>2</sub>±0(ゼロ)住宅を目指す。また、住まい手の省エネ意識に訴え、省エネへの工夫が実感できる仕組み(エネルギーの見える化)を導入。</p>		
<p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b> ●「自立循環型住宅への設計ガイドライン」を参考として、パッシブデザインを実施。●通風に配慮した窓・ドア等の平面計画●日射遮蔽として、カーテンを有効に活用。</p>	<p><b>Q2 長く使い続ける</b> ●外壁・屋根材は25～50年の耐久性が期待される仕様。●点検・保証システム(住まいの手引きなどによる維持管理の情報提供)</p>	<p><b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b> ●近隣住宅・街区との調和。●地域の安全・安心(センサー付照明) ●テラスによりプライバシーを確保し、中間期や夏場は積極的に窓を開け通風する。</p>
<p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b> ●高効率エアコン ●給湯ヘッダー配管 ●省エネ家電・厨房機器の採用 ●省エネ換気システムの採用 ●太陽光発電システム4.86kw ●節水型設備:便器、水栓、食器洗い洗濯機 ●住まいの手引き(省エネの暮らし提案) ●エネルギー管理</p>	<p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b> ●内装:省資源・廃棄物抑制材料の使用(石膏ボード) ●施工段階における副産物の抑制 ●設計図書(仕上表):使用材料特定の為の型番情報等の提供</p>	<p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b> ●地形の保全 ●表土の保全 ●エアコン室外機等 ●エアコン室外機・エコキュート等の騒音・振動・排気・排熱の周辺環境への配慮。</p>



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

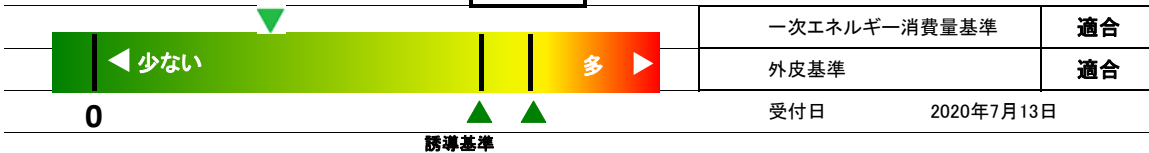
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **60** %削減



##### ■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

①太陽光発電によりエネルギーの削減を行っている

電気便座(多段階評価3以上)

③住まいの手引きにて省エネに関する説明

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

##### ■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

長期優良住宅・性能評価取得。窓は全て木製サッシ3層ガラス。

##### ■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤ホルムアルデヒド対策等級3を満たしている

玄関2ロック。窓サッシにはチャイルドロック設置

##### ■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 **あり**

⑥主要な居室について2方向、もしくは十分な開口部がある

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **4**

##### ■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑧劣化対策等級3を満たしている。サイディング金物工法を採用。

屋根はコロニアル葺きとし、耐用年数30年、耐火等級(開口部以外)等級2を満たしている。

長期優良住宅の点検計画

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

##### ■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

##### 太陽光発電などの導入



太陽光利用

##### エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

##### 環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

# CASBEE 横浜 [戸建] | 評価結果 | 2-046



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)  
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
<b>QH</b> すまいの環境品質		-	-	<b>3.6</b>
<b>QH1</b> 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	<b>4.0</b>
1 暑さ・寒さ		4.5	0.50	4.5
1.1 基本性能		4.6	0.50	-
1.1.1 断熱等性能の確保	健康・安心	5.0	0.80	-
1.1.2 日射の調整機能	健康・安心	3.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		4.0	0.25	-
1.2.1 風を取り込み、熱気を逃がす		5.0	0.50	-
1.2.2 適切な冷房計画		3.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		5.0	0.25	-
1.3.1 適切な暖房計画		5.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		4.0	0.30	4.0
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心	5.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心	3.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災	3.0	0.25	-
3 明るさ		1.0	0.10	1.0
3.1 屋光の利用		1.0	1.00	-
4 静かさ		5.0	0.10	5.0
<b>QH2</b> 長く使い続ける		-	0.30	<b>4.0</b>
1 長寿命に対する基本性能		4.1	0.50	4.1
1.1 躯体	防災	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		4.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		4.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		1.7	0.20	-
1.5.1 火災に耐える構造		1.0	0.65	-
1.5.2 火災の早期感知		3.0	0.35	-
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		3.0	0.25	3.0
3.1 広さと間取り		4.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
<b>QH3</b> まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	<b>2.4</b>
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出		1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり	1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防災	3.0	0.20	3.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
<b>LRH</b> すまいの環境負荷低減性		-	-	<b>4.1</b>
<b>LRH1</b> エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	<b>4.5</b>
1 総合的な省エネ		4.8	0.75	4.8
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能	3.0	0.10	-
2 水の節約		3.7	0.15	3.7
2.1 節水型設備		4.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		3.5	0.10	3.5
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能	4.0	0.50	-
<b>LRH2</b> 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	<b>4.5</b>
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		4.2	0.60	4.2
1.1 構造躯体		5.0	0.30	-
1.1.1 木質系住宅		5.0	1.00	-
1.1.2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
1.1.3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		5.0	0.20	-
1.4 内装材		4.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		5.0	0.30	5.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		5.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		5.0	0.10	5.0
3.1 使用材料の情報提供		5.0	1.00	-
<b>LRH3</b> 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	<b>3.1</b>
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	2.5
2.1 地域インフラの負荷抑制		2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		3.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		2.0	0.33	2.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		1.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-